

令和4年度 小山消防署新庁舎建設基本計画（案）の概要

【小山消防署新庁舎建設基本計画とは】

本計画は、消防情勢や社会情勢を踏まえ、継続的な町民の安全・安心を確保のため「消防力を最大限に発揮でき、災害に強く経済性に配慮した庁舎」をモットーとし“機能性を最優先したシンプルでスリム”な施設整備を目指す設計業務の基本となるものです。

【計画の概要】

1 消防署新庁舎建設基本方針

「消防力を最大限に発揮でき、災害に強く経済性に配慮した庁舎」

- (1) 消防活動拠点のほか大規模災害時に対応できる災害時の受援拠点としての機能
- (2) 消防車両等を運用するための訓練機能
- (3) 町民への啓発や情報発信機能
- (4) その他
 - ①安全かつ衛生的で女性署員の配置や署員の増員にも対応できる勤務環境とする
 - ②省資源、省エネルギーに配慮した環境保護や経済的な庁舎とする
 - ③資器材の整備・保管、高圧ガスの充填ができる資器材庫を備えた庁舎とする

2 消防署新庁舎整備計画

「建築地の概要と建築に関する各種課題について検討」

- (1) 土地利用に関する課題
- (2) 景観計画に関する課題
- (3) 敷地高低差による造成計画に関する課題

「導入機能及び規模について検討」

- (1) 外部機能と配置計画
- (2) 庁舎機能と規模
- (3) 建物ゾーニング
- (4) その他
 - ①構造計画
 - ②整備計画
 - ③省エネ対策
 - ④再生可能エネルギー
 - ⑤木材利用計画

3 消防署新庁舎事業計画

「消防署新庁舎建設全体の事業計画について検討」

- (1) スケジュール
- (2) コスト（イニシャルコスト・ランニングコスト・ライフサイクルコスト）
- (3) 資金計画
- (4) 官公署との協議等